



IJCAD

Training Guide

1.1 改訂版

IntelliJapan

IJCAD をはじめて使う方、
もう一度勉強し直したい方、
これから CAD で作図を始める方必読。

IJCAD 公式トレーニングガイド



IJCAD

Training Guide

改訂版

IntelliJapan

IJCADをはじめて使う方、

もう一度勉強し直したい方、

これから CAD で作図を始める方必読。

IJCAD 公式トレーニングガイド

はじめに

本書では IJCAD 初心者の方に向けて、基本的な操作について解説しています。知りたい機能や操作の説明を見つけやすくするため、そのコマンドや操作で「できること」を軸に構成されています。どこから読んでも良いように、同じコマンドの説明が複数のページに記載されていたり、同じ説明が別の章でも解説されていたりします。

本書が IJCAD をお使いのみなさまのお役に立つことができれば幸いです。

■本書の UI (ユーザインタフェース) について

本書 (第 1.1 版 第 1 刷) は、IJCAD 2021 以降の UI に対応しています。これに対し、初版 第 1 刷では IJCAD 2020 までの UI に対応しています。基本的に操作方法は同様です。

本書の使い方

本書は、「できること」を軸に構成されています。まず「第 1 章 IJCAD の基本操作」に目を通したのち、知りたいことのページから読み進めてください。例えば、すぐにも IJCAD で書きたい図面がある方は、「第 11 章 テンプレートファイルの作成と図面の設定」を参考に、図面のための設定から始めることもできます。IJCAD の全般的な操作について覚えたい方は、第 1 章に続けて第 2 章、第 3 章と順番に進めてみてください。

■練習用図面について

本書の「例題」にて使用している図面は、下記からダウンロードすることが可能です。
<https://ijcad.jp/ijcad-trainingguide>

製品のグレードについて

IJCAD には LT、STD、PRO という 3 種類のグレードがあります。本書で説明するほとんどの機能は、どのグレードにも対応している機能です。一部、LT に対応していないものについては、【LT 非対応】と明示しています。本書の作成にあたっては IJCAD 2021 PRO を使用していますが、基本操作は前後のバージョンにも対応しています。

目次

はじめに	3
本書の使い方	3
グレードについて	3

第1章 IJCADの基本操作

01. IJCADの起動と終了 12

IJCADの起動	12
IJCADの終了	13

02. IJCADの画面構成 14

アプリケーションボタン・アプリケーションメニュー	15
クイックアクセスツールバー	15
リボン	16
パレット	17
ファイルタブ	18
作図領域	19
クロスヘアカーソル	19
UCSアイコン	19
モデルタブとレイアウトタブ	19
コマンドウィンドウ	20
ステータスバー	20

03. 図面ファイル进行操作する 21

図面ファイルの新規作成	21
図面ファイルを開く	22
ファイルの表示状態を変更する	23
保存する	24
図面ファイルを閉じる	25

04. IJCADの基本操作 26

マウスの使い方	26
キーボードによる操作	27
コマンドを実行する	28
コマンドオプションを選択する	31
元に戻す UNDO (U)・やり直し REDO	33

05. 画面操作 (ズーム) 34

マウスのホイールボタンで操作する	34
窓ズーム ZOOM (Z) - W	36

06. 図形 (オブジェクト) を選択する 37

ひとつずつ選択する	37
領域を指定して選択	38
選択を解除する	38
選択オプションを使う	39
選択方法のコマンド	40
選択の循環 [Ctrl] + [W]	42

第2章 効率的に正確な作業を行うための機能

01. 角度を指示する	44
直交モード [F8]	44
極トラッキング [F10]	47
02. 図形と位置合わせをする	50
オブジェクトスナップ [F3]	50
オブジェクトスナップトラッキング [F11]	56
03. グリッドとスナップを使用する	58
グリッド [F7]	58
スナップ [F9]	59
04. 座標入力をする	62
座標について	62
絶対座標入力	62
相対座標入力	63
極座標入力	65

第3章 画層とプロパティ

01. 画層 (レイヤー)	68
画層 (レイヤー) とは	68
画層プロパティ	69
画層の新規作成	73
画層の削除	73
画層の移動	75
画層ごとのオブジェクトを確認する	76
02. オブジェクトプロパティ	79
ByLayer とは	79
オブジェクトのプロパティの変更	79
プロパティパレット PROPERTIES (PROPS)	83
クイックプロパティ [Shift] + [Ctrl] + [P]	83
プロパティコピー MATCHPROP (MA)	84

第4章 図形の作成

01. 作成コマンド一覧	86
コマンド、コマンドエイリアス	86
作成パネル	87
02. 直線の作成	88
線分 LINE (L)	88
折れ線：ポリライン PLINE (PL)	90
長方形 RECTANG (REC)	92
正多角形：ポリゴン POLYGON (POL)	94
無限に伸びる直線の作成：構築線 XLINE (XL)・放射線 RAY	98
03. 曲線の作成	100
円 CIRCLE (C)	100
円弧 ARC (A)	105
楕円 ELLIPSE (EL)	109
スプライン SPLINE (SPL)	109
雲マーク REVCLOUD	110
丸めを作成する：フィレット FILLET (F)	111
04. ハッチングの作成	113
ハッチング HATCH (H)	113
ハッチング編集 HATCHEDIT (HE)	116

第5章 図形の修正

01. 修正コマンド一覧	118
コマンド、コマンドエイリアス	118
修正パネル	119
02. 移動する、複写する	120
移動 MOVE (M)	120
複写 COPY (CO)	124
回転 ROTATE (RO)	126
鏡像 MIRROR (MI)	128
等間隔に複写：配列複写 (矩形状)ARRAYRECT・配列複写 (円形状)ARRAYPOLAR	130
平行複写：オフセット OFFSET (O)	134
図面ファイル間のコピー	137
03. 削除する、切り取る	139
削除 ERASE (E) [Delete]	139
オブジェクトの一部を削除：部分削除 BREAK (BR)	139
境界線で切り取る：トリム TRIM (TR)	143

04. 拡大する、縮小する	145
尺度変更 SCALE (SC)	145
長さ変更-比率 LENGTHEN (LEN) - P	151
05. 伸縮する、変形する	154
ストレッチ STRETCH (S)	154
長さ変更-増減 LENGTHEN (LEN) - DE	156
境界線まで延ばす：延長 EXTEND (EX)	158
境界線で切り取る：トリム TRIM (TR)	160
06. 分解する、結合する	161
分解 EXPLODE (X)	161
結合 JOIN (J)	161
ポリライン編集-結合 PEDIT (PE) - J	163
【LT 非対応】オブジェクト分割 BRAEKOBJECT	166
07. コーナーを処理する	168
丸めを作成する：フィレット FILLET (F)	168
面取り CHAMFER (CHA)	170
08. 特定のオブジェクトの修正	173
ポリライン編集 PEDIT (PE)	173
スプライン編集 SPLINEDIT (SPE)	173
ハッチング編集 HATCHEDIT (HE)	174
09. 比較する	175
【LT 非対応】図形比較 OCMP	175
【LT 非対応】図面比較 _CMP	176

第6章 注釈の記入

01. 文字を記入する	180
複数行の文字を記入する：マルチテキスト MTEXT (MT)	180
一行の文字を記入する：文字記入 TEXT (DT)	181
文字編集 DDEDIT	183
文字スタイル管理 STYLE (ST)	183
文字の大きさについて	186
【LT 非対応】文字の位置を揃える：文字位置合わせ TEXTALIGN	187
【LT 非対応】連続文字を記入する：連続文字 GC_DZTEXT	187
02. 寸法を記入する	188
寸法オブジェクトの要素について	188
水平、垂直の距離を測って記入する：長さ寸法記入 DIMLINEAR (DLI)	188
斜め方向に距離を測って記入する：平行寸法記入 DIMALIGNED (DAL)	188
角度を記入する：角度寸法記入 DIMANGULAR (DAN)	189
弧の長さを記入する：弧長寸法記入 DIMARC (DAR)	190

半径寸法記入 DIMRADIUS (DRA)	190
直径寸法記入 DIMDIAMETER (DDI)	191
座標寸法記入 DIMORDINATE (DOR) 直径寸法記入 DIMDIAMETER (DDI)	191
折り曲げ半径寸法記入 DIMJOGGED	192
直列寸法記入 DIMCONTINUE (DCO)	192
並列寸法記入 DIMBASELINE (DBA)	193
寸法の形を管理する：寸法スタイル管理 DIMSTYLE (D)	193
寸法線間隔 DIMSPACE	199

03. 引出線を記入する 200

マルチ引出線 MLEADER (MLD)	200
引出線の位置を揃える：位置合わせ MLEADERALIGN (MLA)	200
マルチ引出線スタイル管理 MLEADERSTYLE (MLS)	202

04. 表の作成 206

表 TABLE (TB)	206
表を修正する	209
表スタイル管理 TABLESTYLE	211

第7章 印刷とレイアウト

01. モデル空間とペーパー空間 216

モデル空間とペーパー空間	216
ビューポート	217

02. 印刷する 218

モデル空間の印刷 PLOT	218
印刷スタイルテーブルについて	219
印刷スタイル管理 STYLESMANAGER	222
モデル空間のページ設定管理 PAGESETUP	223

03. レイアウト 225

レイアウト作成の手順	225
レイアウトのページ設定管理 PAGESETUP	225
ビューポートの作成：ビューポート -VIEWPORTS (-VPORTS)	227
ビューポートの表示を調整する	229
ペーパー空間に作図する	235
レイアウトを管理する	236
レイアウトの印刷	238

第8章 複数の図形をひとつにまとめる

01. グループ 242

グループ GROUP (G)	242
グループ解除 UNGROUP	242

グループ選択可能 システム変数 PICKSTYLE	243
---------------------------	-----

02. ブロック

ブロック定義 BLOCK (B)	244
ブロックを配置する：挿入 INSERT (I)	245
他図面ファイルのブロックを配置する：デザインセンター ADCENTER (ADC)	246
定義済みのブロックを修正する：ブロックエディタ BEDIT (BE)	249
ブロック内に修正可能な文字を入れる：属性定義 ATTDEF (ATT)	251
属性編集 EATTEDIT	255

第 9 章 外部参照を管理する

01. 外部参照を管理する

外部参照：DWG 参照 XATTACH	258
外部参照パレット	260

第 10 章 データ交換をする

01. DWG のバージョンを管理する

DWG ファイルのバージョンへの対応表	262
DWG ファイルのバージョンの変更方法	262

02. PDF データを扱う

PDF データを作成する：印刷 PLOT	265
【LT 非対応】 pdf 読み込み PDFIN	265
PDF を参照する：PDF アンダーレイ PDFATTACH	266

第 11 章 テンプレートファイルの作成と図面の設定

01. テンプレートファイルの作成

新規作成 QNEW	270
画層を作成し、線種をロードする	270
グローバル線種尺度を設定する	271
文字スタイルを作成する	271
寸法スタイルを作成する	271
マルチ引出線スタイルを作成する	272
図面範囲の長方形を作図する	272
レイアウトのページ設定を行う	273
図面枠を挿入する	274
テンプレートファイルの保存	275

02. 図面尺度に合わせて行う設定

図面尺度に合わせて設定する項目	276
-----------------	-----

第 12 章 作業環境を調整する

01. オプション-----278

オプション OPTION (OP)-----	278
画面内要素の色設定-----	282
ウィンドウの要素の表示、非表示-----	284
カーソルのサイズ-----	285
右クリックの動作-----	286
オブジェクトの選択に関する設定-----	286
ファイルの保存-----	287

索引

01 第1章

IJCADの基本操作

IJCADの起動や画面構成、ファイルの管理、マウスの使い方など、基本的な操作方法について説明します。

- 01 IJCADの起動と終了
- 02 IJCADの画面構成
- 03 図面ファイル进行操作する
- 04 IJCADの基本操作
- 05 画面操作（ズーム）
- 06 図形（オブジェクト）を選択する

01 IJCADの起動と終了

IJCADの起動方法と終了方法について説明をします。

1 IJCADの起動

デスクトップに作成されている①ショートカットアイコンをダブルクリックしてIJCADを起動します。

※アイコンのデザインはバージョンによって違いがあります。

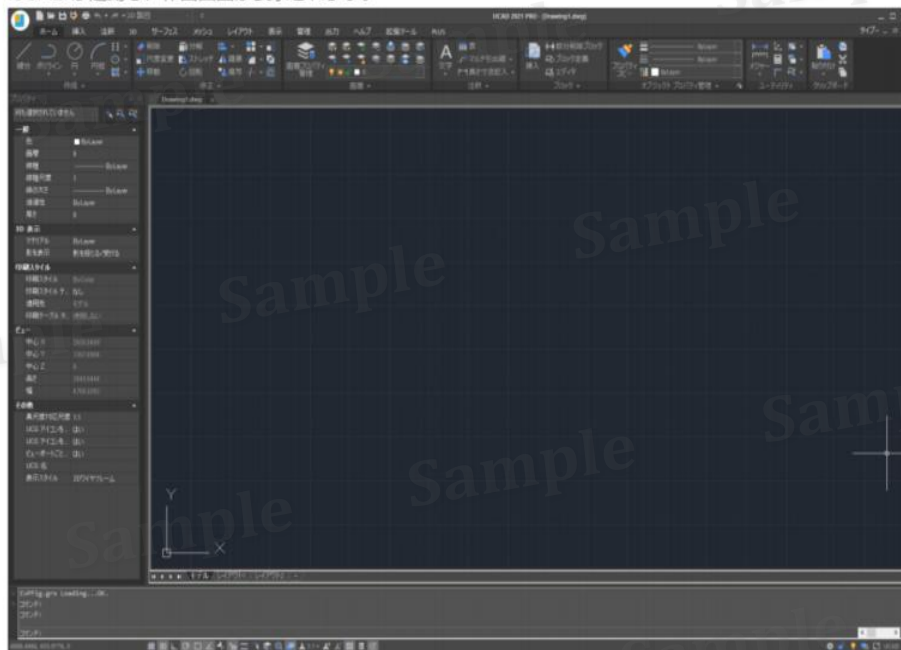


Windowsのスタートボタンから②IJCADのフォルダ内にある③IJCADのショートカットをクリックして起動することもできます。

※バージョンなどはインストールされているソフトによって異なります。



IJCADが起動し、作図画面が表示されます。



※初期設定の背景色は濃いグレーですが、本書ではこれ以降、背景色を白にした状態で説明を行います。

背景色の変更については [282 ページ](#) で説明します。

2 IJCADの終了

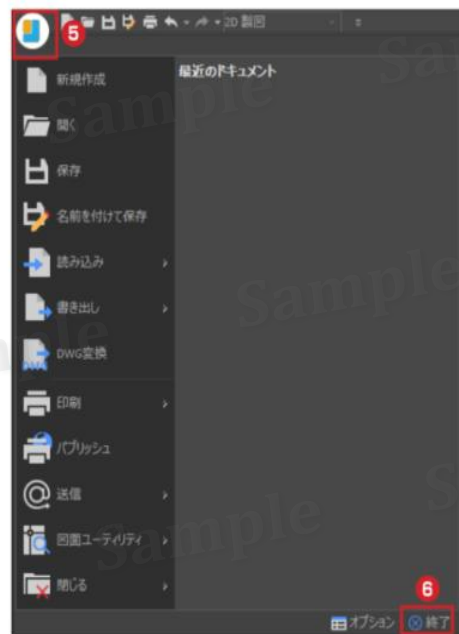
IJCADのウィンドウ右上の① [×] ボタンをクリックします。



保存していないファイルがある場合、ファイルの保存を確認するダイアログが表示されますので、保存する場合は② [[はい] を、保存しない場合は③ [[いいえ] を、IJCADを終了しない場合は④ [キャンセル] をクリックします。



IJCADのウィンドウ左上の⑤ アプリケーション ボタンをクリックし、表示される アプリケーションメニューの右下にある⑥ [終了] ボタンをクリックする方法でも終了できます。



01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

索引

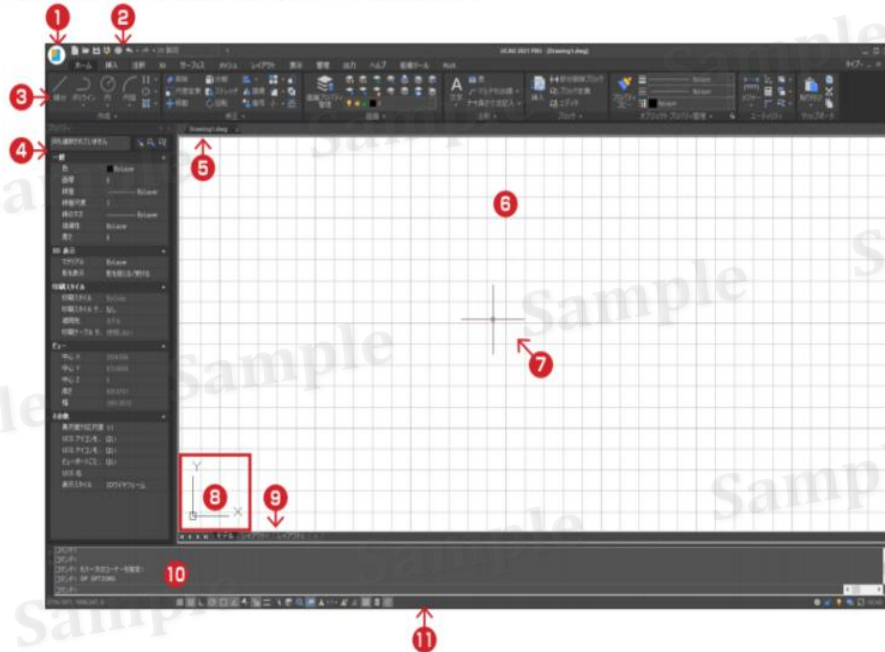
01

IJCADの画面構成

02

IJCADの画面構成について説明します。各部の名称や働きなどを確認しましょう。

IJCADを起動すると表示される画面について説明します。



- ① アプリケーションボタン…アプリケーションメニューが表示されます。
- ② クイックアクセスツールバー…比較的好く使用するコマンドのアイコンがあります。
- ③ リボン…IJCADの操作を行うためのアイコンやコントロールがあります。
- ④ パレット (プロパティパレット) …作成された図形 (オブジェクト) の情報が確認できます。
- ⑤ ファイルタブ…開いている図面ファイルがタブで表示されます。
- ⑥ 作図領域…図面を作成する領域です。
- ⑦ クロスヘアカーソル…マウスカーソルです。状況によって形状が変化します。
- ⑧ UCSアイコン…現在のX軸とY軸の方向を表します。設定によって常に作図領域の左下に表示されるか、原点に表示されるか、表示しないかを選択できます。
- ⑨ モデルタブとレイアウトタブ…モデル空間とレイアウトの設定を行うペーパー空間を切り替えます。
- ⑩ コマンドウィンドウ…操作のガイダンスとなる「コマンドプロンプト」が表示されます。
- ⑪ ステータスバー…作成補助機能などのオン/オフや設定を行うアイコンがあります。

各ツールがどのような働きをするのか、続けて詳しく説明をします。

1 アプリケーションボタン・アプリケーションメニュー

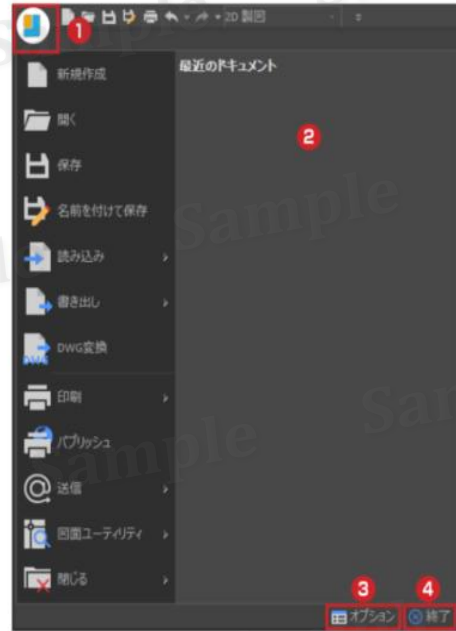
① **アプリケーションボタン**をクリックすると**アプリケーションメニュー**が表示されます。

アプリケーションメニューには新規作成、開く、保存などのコマンドや②「最近のドキュメント」欄に最近使用したファイルが表示されます。

※ 右の図ではまだ使用したファイルがないため、表示されていません。

右下には IJCAD の環境設定を行うオプションコマンドを実行する③ [オプション] ボタンや、IJCAD を終了させる④ [終了] ボタンも配置されています。

オプション コマンドについては [278 ページ](#)で説明します。



2 クイックアクセスツールバー

アプリケーション ボタンの隣に常に表示されるツールバーを**クイックアクセスツールバー**といいます。

ここでは、① 新規作成 ② 開く ③ 保存 ④ 名前を付けて保存 ⑤ 印刷 ⑥ 元に戻す ⑦ やり直しの各コマンドのアイコンと⑧ ワークスペースが配置されています。



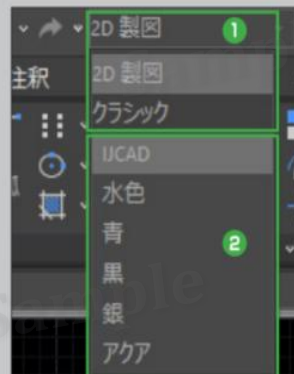
ワークスペース

IJCAD の画面構成の状態を保存したものを**ワークスペース**と呼びます。クイックアクセスツールバーの① ワークスペースから選択して変更することができます。

ワークスペースで **2D 製図** を選択すると、リボンインターフェースの画面構成となり、**クラシック** を選択すると、ツールバーを使用したインターフェースとなります。この他にワークスペースを自分で作成することもできます。

また、ワークスペースのリストの下部では② **色のテーマ**が選択できます。色のテーマを変更すると、リボンやダイアログボックスなどの色を変更されます。

本書ではワークスペースを **2D 製図**、色のテーマを**黒**にした状態で、画面の説明をしています。



01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

索引

3 リボン

リボンは、① **リボントab**と② **リボンパネル**とで構成されます。リボンパネルをグループ化して名前を付けた物がリボントabです。リボンパネルにはカテゴリ分けされたコマンドのアイコンが配置されています。



■ リボンパネルの展開

リボンパネルの下に表示されたパネル名の右に③ ▼マークがある場合、クリックするとリボンパネルが展開し、④ スライドアウトが表示されます。



一部のパネルには右下に⑤ ダイアログボックスランチャー ボタンがあります。このボタンをクリックすると、そのリボンパネルに関連するダイアログボックスやパレットが表示されます。



■ リボンの最小化

リボンはパネル部分を非表示にした⑥ 最小化の状態にすることができます。リボンを最小化するとリボントabのみが表示され、リボントabをクリックするとリボンパネルが表示されます。



リボンの最小化は、リボン上で右クリックして表示するショートカットメニューから⑦ **リボンの最小化**を選択して行います。



4 パレット

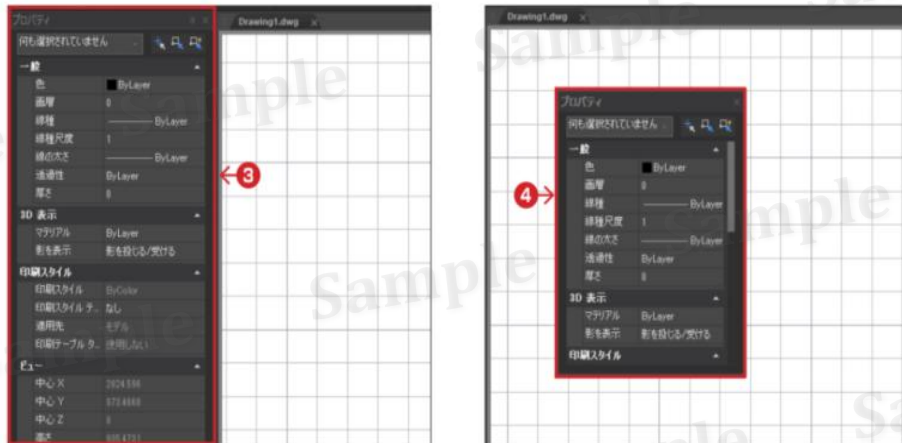
IJCADには**パレット**という、さまざまな設定を行うためのインターフェースがあります。パレットは作業の内容に合わせて、画面上に表示させたままにしておくことができるツールです。ダイアログのように設定後に閉じる必要はなく、表示させたまま他のコマンドを実行できます。

パレットは、リボンの① [表示] タブの② [パレット] パネルのアイコンから表示することができます。

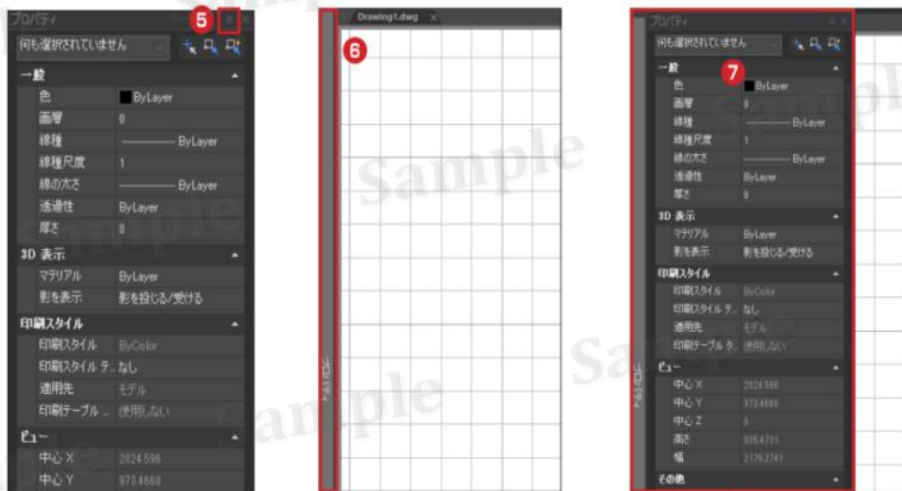


■ パレットの表示状態

パレットは、IJCADの画面の周囲に③ ドッキング状態にしたり、作図領域内に④ フローティング状態にしたりすることができます。



ドッキング状態で⑤ 自動的に隠す ボタンをクリックすると、パレットは⑥ バーのみの状態となり、カーソルをそのバーに近づけると⑦ パレットが開いて使用できます。



01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

索引

パレットをドッキング状態からフローティング状態にするには、パレットの⑧タイトル部分でドラッグし、作図領域内にドロップします。



フローティング状態からドッキング状態へ変更するには、パレットのタイトル部分で右クリックし、表示されたショートカットメニューから⑨ドッキングを選択します。

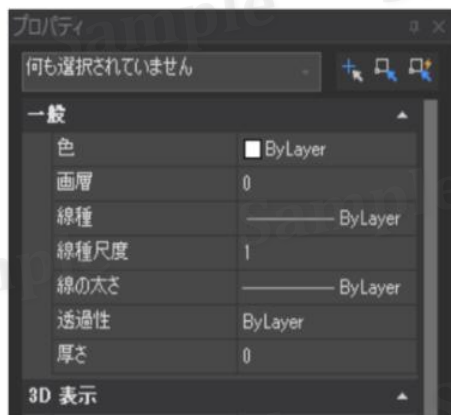


■ プロパティ パレット

プロパティ パレットは、パレットのひとつです。IJCADの初期設定では画面上にドッキング状態で表示されています。

ここには選択された図形の情報（プロパティ）が表示されます。表示された情報の一部は、その値をプロパティパレット上で変更することによって、図形の形状や設定を修正することができます。

図形が選択されていない場合には、現在の作成の条件が表示されます。

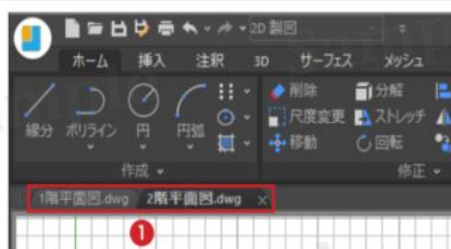


プロパティパレットについては [83 ページ](#)で説明します。

5 ファイルタブ

作図領域左上に表示される①ファイルタブには、現在開いている図面のファイル名が表示され、並べられます。

IJCADでは複数の図面ファイルを同時に開いて作業することができるので、開いているどのファイルを編集の対象とするかをこのファイルタブで管理します。



右の例では **1階平面図.dwg** と **2階平面図.dwg** という二つの図面ファイルが現在開いていることと、[2階平面図.dwg] タブが選択されているので、現在編集の対象となっているファイルは **2階平面図.dwg** ということがわかります。

ファイルタブの表示については [284 ページ](#)で説明します。

6 作図領域

図形など、図面の要素を作成する領域です。**作図領域**は無限に広がっています。IJCADの初期設定では濃い灰色となっています。また、背景にグリッドが表示されているため方眼紙のような線が表示されています。本書では説明に使用する図の背景は**グリッドをオフ**にし、**色を白**に変更しています。

背景色の変更については **282 ページ**で、グリッドについては **58 ページ**で説明します。

7 クロスヘアカーソル

マウスカーソルです。位置を指定する、図形を選択するなどの操作の状況によって、形が変化します。



8 UCSアイコン

現在のユーザー座標系の原点やX軸、Y軸の方向を表しています。モデル空間とペーパー空間で表示される形が異なります。



座標については **62 ページ**で説明します。

9 モデルタブとレイアウトタブ

作図領域の左下にあるタブが **1 モデルタブ**と **2 レイアウトタブ**です。このタブによって、作業を行う空間の切り替えが行われます。

IJCADには**モデル空間**と**ペーパー空間**という2種類の空間が存在します。

モデル空間は図面の内容を作成するための空間で、ひとつのファイルには必ずひとつ存在します。モデルタブが選択されている状態では、作図領域にはモデル空間が表示されています。初期画面で表示されているのはモデル空間です。

ペーパー空間は印刷の設定を行うための空間です。ひとつのファイルには複数のペーパー空間を作成できます。モデルタブ以外のタブはレイアウトタブです。

レイアウトタブが選択されているときには、作図領域にはペーパー空間が表示されます。



モデル空間とペーパー空間、レイアウトについては **216 ページ**で説明をします。

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

索引

10 コマンドウィンドウ

コマンドウィンドウには、実行したコマンドや、そのコマンドの操作に関するガイダンスが表示されます。コマンドウィンドウもパレットのひとつですので、**ドッキング状態**、**フローティング状態**、**自動的に隠す**などに変更することができます。

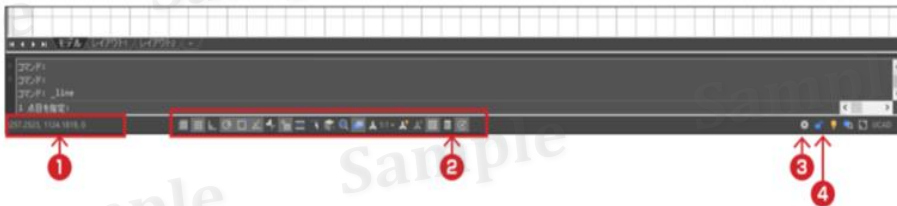


コマンドウィンドウの使い方については **28 ページ** で説明します。

11 ステータスバー

ステータスバーの左端に表示されている **①** 数値は、カーソルの現在の位置を示す絶対座標値です。中央部には、効率的に正確な作業を行うためのツールである **②** 作図補助機能のボタンが並べられています。このボタンをクリックして、各作図補助機能のオンとオフを切り替えながら作業を行います。

また、右端には **③** ワークスペースを変更するアイコンや、**④** ウィンドウなどの位置を固定するアイコンが配置されています。



作成補助機能のボタンについて

作成補助機能のボタンは、初期設定ではアイコンの状態が表示されますが、文字が表示されたボタンの状態に変更することができます。

変更する場合は、作図補助機能のアイコン上で右クリックして表示されるメニュー内の **① アイコンを使用** をクリックしてチェックを**オフ**にします（アイコン表示の状態ではチェックが**オン**になっています）。

メニューが表示されないアイコンもあるので、その場合は別のアイコンで試してみてください。下の図のメニューは例です。右クリックしたアイコンによって、メニューの内容は変化します。



下の図は文字が表示されたボタンが配置されたステータスバーです。



01

図面ファイル进行操作する

03

IJCADでの新しい図面ファイルの作成やファイルに名前を付けて保存する方法など、図面ファイルの操作について説明します。

1 図面ファイルの新規作成

■ 新規作成 QNEW

クイックアクセスツールバーの①アイコンをクリックしてコマンドを実行します。

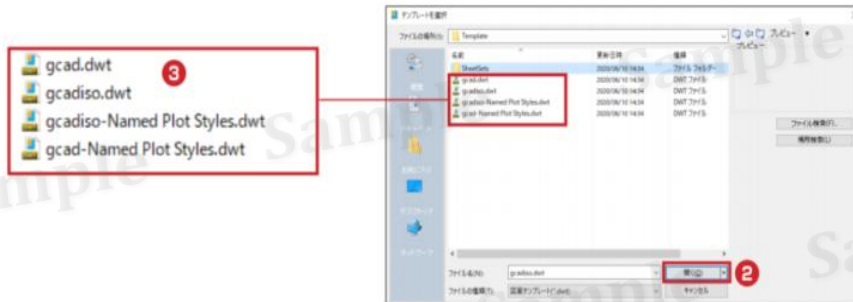


「テンプレートを選択」ダイアログが表示されます。使用するテンプレートを選択して、② [開く] ボタンをクリックすると、新しい図面ファイルが作成されます。

テンプレートとは、新しく作成する図面ファイルのひな型として使用する設定ファイルです。拡張子は .dwt です。

初期設定で用意されているテンプレートは③ 4種類です。長さの単位と印刷スタイルのタイプによって、どのテンプレートを使用するかを決定します。

長さの単位をミリメートルとして図面を作成する場合、通常は **gcadiso.dwt** を使用します。



初期設定のテンプレートファイルについて

初期設定で用意されているテンプレートファイルには長さの単位と印刷スタイルのタイプが設定されています。

テンプレート名	長さの単位	印刷スタイルテーブルのタイプ
gcad.dwt	インチ	色従属印刷スタイルテーブル
gcadiso.dwt	メートル	色従属印刷スタイルテーブル
gcadiso-Named Plot Styles.dwt	メートル	名前の付いた印刷スタイルテーブル
gcad-Named Plot Styles.dwt	インチ	名前の付いた印刷スタイルテーブル

印刷スタイルについては **219 ページ** で、テンプレートファイルの作成については **270 ページ** で説明します。

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

索引

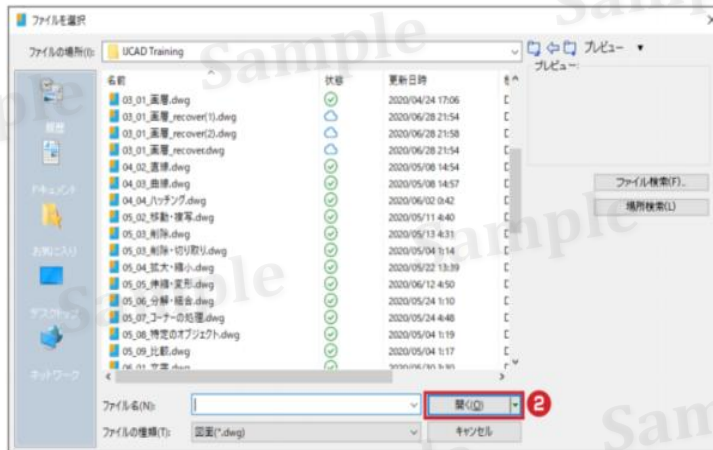
2 図面ファイルを開く

■ 開く OPEN

クイックアクセスツールバーの ❶ アイコンをクリックしてコマンドを実行します。

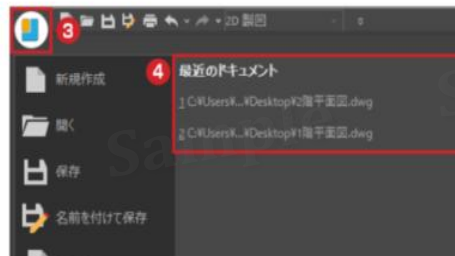


「ファイルを選択」ダイアログが表示されます。対象の図面ファイルを選択し、❷ [開く] ボタンをクリックします。



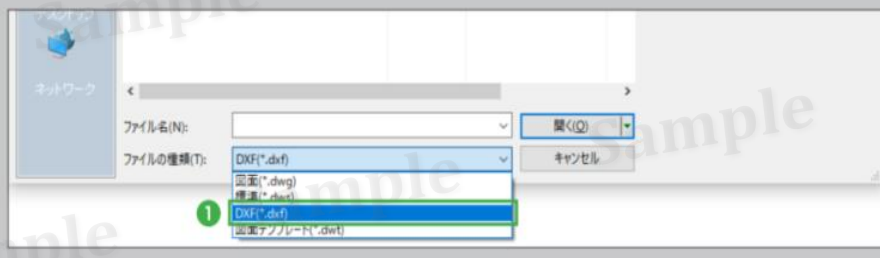
■ 最近使用したファイルを開く

❸ アプリケーションボタンをクリックし、表示されたアプリケーションメニューの ❹ 「最近のドキュメント」欄から開きたいファイルをクリックします。



DXF データを開く

他の CAD ソフトで作成し、DXF ファイルとして保存された図面ファイルを開く場合には、「ファイルを選択」ダイアログの「ファイルの種類」を ❶ DXF (*.dxf) に変更します。



3 ファイルの表示状態を変更する

IJCAD では一度に複数の図面ファイルを開くことができます。複数の図面ファイルを効率よく編集するためにファイルの表示状態の切り替え方法を覚えておきましょう。

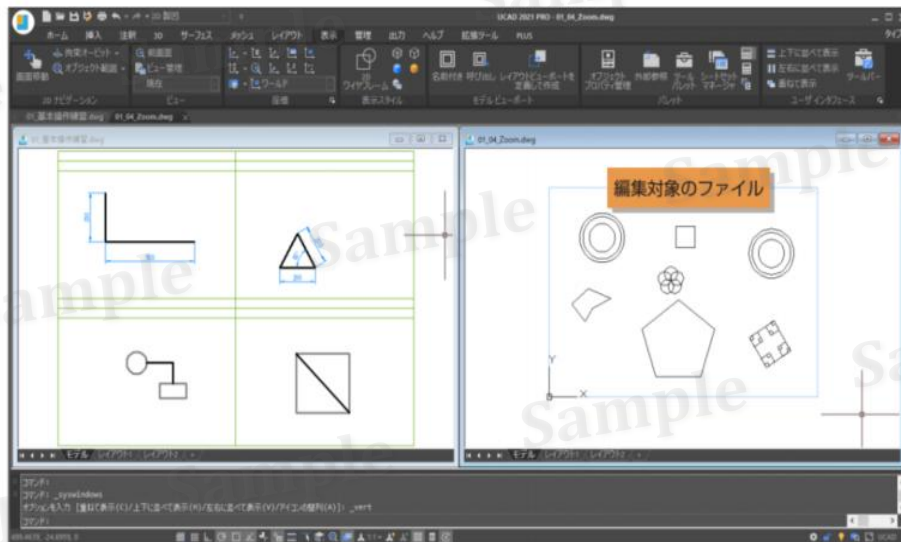
■ 並べて表示

現在開いている図面ファイルを IJCAD のウィンドウ内に並べて表示させます。

リボンの **1** [表示] タブの [ユーザーインターフェイス] パネル内の **2** 上下に並べて表示、または **3** 左右に並べて表示 をクリックします。



左右に並べて表示にすると、複数の図面ファイルがウィンドウ内に並んで表示されます。ウィンドウ内でクリックしてアクティブにしたファイルが編集の対象となります。下の図では右側の図面が編集対象です。



■ 図面ファイルの切り替え

複数の図面ファイルが重なった状態で表示されている場合には、編集する図面ファイルの **4** ファイルタブをクリックして切り替えを行います。



ファイルタブの表示については [284 ページ](#) で説明します。

01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

索引

4 保存する

■ 上書き保存 QSAVE

上書き保存コマンドでは、編集中の図面ファイルを更新して保存します。

上書き保存コマンドは、クイックアクセスツールバーの **1** アイコンをクリックして実行します。

新規作成した後で、まだ名前を付けて保存していないファイルの場合には、「図面に名前を付けて保存」ダイアログが表示されます。

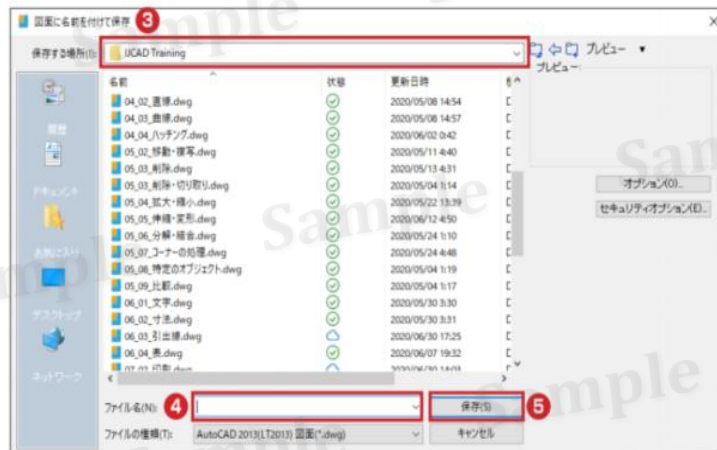


■ 名前を付けて保存 SAVEAS

名前を付けて保存コマンドでは、編集中の図面ファイルに名前を付けて新しいファイルとして保存します。

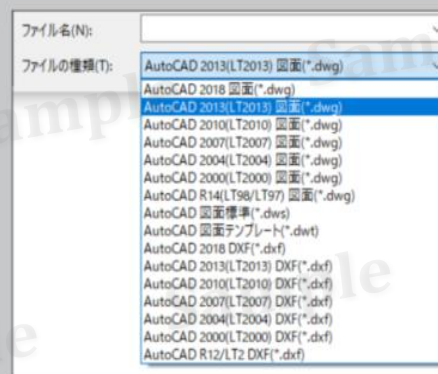
名前を付けて保存コマンドはクイックアクセスツールバーの **2** アイコンをクリックして実行します。

「図面に名前を付けて保存」ダイアログで **3** ファイルの保存先を選択し、**4** ファイル名を入力して **5** [保存] ボタンをクリックします。



保存形式の変更

図面ファイルのバージョンを変更して保存する場合や DXF ファイルとして保存する場合には、「ファイルの種類」を変更します。



図面ファイルのバージョンについては [262 ページ](#) で説明します。

5 図面ファイルを閉じる

■ 閉じる CLOSE

閉じたい図面ファイルのタブの① [X] をクリックするとその図面ファイルが閉じます。

最後に保存してから編集を行っている場合には、ファイルの保存を確認するダイアログが表示されます。

上書き保存をする場合には② [はい]、保存しないで閉じる場合は③ [いいえ]、ファイルを開じることをやめる場合には④ [キャンセル] をクリックします。



■ 全て閉じる CLOSEALL

開いている図面ファイルを全て閉じます。図面ファイルが何も開かれていない状態になりますが、IJCADは終了しません。

⑤ アプリケーションボタンをクリックし、アプリケーションメニューを表示させます。⑥ 閉じるにカーソルを移動して、サブメニューから⑦ すべて閉じるを選択します。

開いている図面ファイルが順番に閉じられます。最後に保存してから編集を行ったファイルがある場合には、ファイルの保存を確認するダイアログが表示されます。



01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

索引

01

IJCADの基本操作

マウスの使い方、キーボードによる操作、コマンドの実行方法について説明します。

04

1 マウスの使い方

■ 左クリック



マウスの**左側のボタン**を**1回**カチッと押します。

左クリックは次の場面で行います。

- ・ リボンやクイックアクセスバーのアイコンを選択してコマンドを実行する
- ・ メニューバーからメニューを開き、コマンドを選択して実行する
- ・ 作図領域内で、位置を指定する
- ・ 図形を選択する（選択領域を指定する）

■ 左ダブルクリック



マウスの**左側のボタン**を**2回**カチカチッと押します。

左ボタンのダブルクリックは、文字やハッチングなどの一部のオブジェクトに対する編集のコマンドを実行します。

■ 右クリック



マウスの**右側のボタン**を**1回**カチッと押します。

右クリックによる動作は、設定を変更することができますが、初期設定では次の動作となります。
ショートカットメニューの表示

※右クリックの設定を変更すると、Enter キーを押した時と同じ動作にできます。

右クリックの設定については [286 ページ](#) で説明します。

■ ホイールボタンの回転



マウスの**中央のホイールボタン**を**回転**させると作図領域の表示が拡大、縮小されます。

ボタンを上方向へ回転させると図形が拡大され、下方向へ回転させると図形が縮小されます。このとき、マウスカーソルの位置を中心にしてズームが行われますので、カーソルの位置に注意します。

■ ホイールボタンのドラッグ&ドロップ



ホイールボタンのドラッグ&ドロップ（押したままマウスを移動して、別の場所で離す）は画面移動となります。ズームの倍率はそのままで作図領域内の表示位置が調整できます。

■ ホイールボタンのダブルクリック



ホイールボタンをダブルクリックすると、作成されている全ての図形が作図領域内に表示されるようにズームされます。（オブジェクト範囲ズーム）

2 キーボードによる操作

■ Enter、Esc、Delete キーの役割

IJCAD の操作では、**[Enter]** キー、**[Esc]** キー、**[Delete]** キーをよく使います。

キー	動作
Enter	連続する操作の終了（コマンドの終了、オブジェクトの選択の完了）、次の操作に進む直前に実行したコマンドの再実行
Esc	キャンセル（実行中のコマンドのキャンセル、全ての図形の選択解除）
Delete	（選択した図形の）削除

■ ショートカットキー

[Ctrl] キーや **[Shift]** キーと文字や数字のキーとの組み合わせで、コマンドの実行をしたりパレットやダイアログを表示させたりすることができます。下の表は IJCAD の初期設定のショートカットキーです。

ショートカットキー	操作	ショートカットキー	操作
Ctrl + 1	プロパティパレットの表示 / 非表示	Ctrl + Q	終了
Ctrl + 2	デザインセンターの表示 / 非表示	Ctrl + S	上書き保存
Ctrl + 3	ツールパレットの表示 / 非表示	Ctrl + V	貼り付け
Ctrl + 4	シートセットマネージャの表示 / 非表示	Ctrl + W	選択の循環のオン / オフ
Ctrl + 8	クイック計算の表示 / 非表示	Ctrl + X	切り取り
Ctrl + 9	コマンドラインの表示 / 非表示	Ctrl + Y	やり直し
Ctrl + A	すべて選択	Ctrl + Z	元に戻す
Ctrl + C	クリップボードにコピー	Ctrl + F2	テキストウィンドウの表示 / 非表示
Ctrl + N	新規作成	Shift + Ctrl + C	基点コピー
Ctrl + O	開く	Shift + Ctrl + S	名前を付けて保存
Ctrl + P	印刷	Shift + Ctrl + V	ブロックとして貼り付け

ショートカットキーのカスタマイズ

ショートカットキーはカスタマイズすることができます。リボンの **①** [管理] タブを開き、[カスタマイズ設定] パネル内の **②** ショートカット カスタマイズ コマンドを実行し、「ショートカットをカスタマイズ」ダイアログ内で行います。

新しいショートカットを作成する場合は **③** [新規作成] ボタン、既存のショートカットを変更する場合はそのショートカットを選択して **④** [修正] ボタン、ショートカットを削除する場合は **⑤** [削除] ボタンをクリックします。



01

02

03

04

05

06

07

08

09

10

11

12

索引